



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社ファルテック

上場取引所 東

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	62,875	5.9	1,119	64.0	1,011	49.8	1,561	
2019年3月期第3四半期	66,839	6.3	682	196.4	675	180.9	43	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,109百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 30百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	166.51	
2019年3月期第3四半期	4.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	69,373	19,616	25.5	1,887.44
2019年3月期	71,297	18,779	23.7	1,800.88

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,700百万円 2019年3月期 16,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		29.00	29.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	1.9	2,100	2.0	2,250	1.1	2,000	92.5	213.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	9,378,600 株	2019年3月期	9,378,600 株
2020年3月期3Q	628 株	2019年3月期	628 株
2020年3月期3Q	9,377,972 株	2019年3月期3Q	9,377,974 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感、英国のEU離脱問題等により世界経済の不確実性が増しており、国内においても堅調な企業収益や雇用等の改善傾向に一服感が見られ、景気回復基調が崩れつつあると認識しております。当社グループの属する自動車業界の概況は、国内外における不確実性が増す中で足元ではグローバルで販売・生産台数が落ち込み、先行きの不透明感が継続しております。

このような情勢の中、当第3四半期連結結果計期間の売上高は、グローバルでお客様の生産台数減の影響を受け62,875百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

営業利益は、海外の売上高減少に伴う利益減影響があったものの日本セグメントにおいてコスト低減活動が進んだこと等により、1,119百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

経常利益は、営業外収益として国内設備投資に関連する補助金収入144百万円、営業外費用として藤沢物流センター閉鎖に伴う事業所閉鎖損71百万円や北米子会社の取扱製品見直しに伴う在庫処分損60百万円等を計上し、1,011百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、藤沢物流センター売却等による固定資産売却益1,538百万円等を計上し、1,561百万円（前年同期は43百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、市場の停滞によるお客様の生産減の影響や前期に寄与した電装品等の新規商品効果が限定的となったこと等により49,140百万円（前年同期比3.3%減）となりました。セグメント利益は、操業減影響があったものの九州地区において投資した最新鋭設備による合理化効果、当社独自のコスト低減活動Faltec production systemの寄与が進んだこと等により、1,001百万円（前年同期比99.5%増）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、市場の停滞によるお客様の生産減の影響や中国子会社の取扱製品の見直し等により7,743百万円（前年同期比10.8%減）となりました。セグメント利益は、中国子会社再編による人員効率化効果等あったものの操業減影響を補いきれず、534百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、英国のEU離脱問題に端を発したお客様の生産減の影響や北米子会社の取扱製品見直し影響等により5,991百万円（前年同期比18.6%減）となりました。セグメント損失は、操業減影響があったものの前期に生産を開始した北米子会社のミリ波レーダーカバーの生産効率が高まったこと等により473百万円（前年同期は510百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,923百万円減少し、69,373百万円となりました。これは主に、売上高減少や一部お客様からの売上の回収条件が改善したことで受取手形及び売掛金が3,387百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,760百万円減少し、49,756百万円となりました。これは主に、子会社も含めた資金の運用効率化等により借入金削減を進めたことで借入金が1,202百万円減少したことに加え、退職給付に係る負債が714百万円、支払手形及び買掛金が866百万円、それぞれ減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して837百万円増加し、19,616百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が672百万円減少する一方で、利益剰余金が1,216百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.8ポイント増加し、25.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,976	10,661
受取手形及び売掛金	19,926	16,538
商品及び製品	3,367	3,750
仕掛品	568	566
原材料及び貯蔵品	2,993	3,362
その他	1,757	1,737
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	38,575	36,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,425	9,296
機械装置及び運搬具(純額)	8,373	7,722
工具、器具及び備品(純額)	1,281	1,322
土地	6,983	6,177
リース資産(純額)	940	1,245
建設仮勘定	1,810	3,106
有形固定資産合計	28,814	28,871
無形固定資産	1,093	1,126
投資その他の資産		
投資有価証券	324	350
繰延税金資産	1,933	1,935
その他	561	494
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,813	2,773
固定資産合計	32,721	32,770
資産合計	71,297	69,373

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,114	8,247
電子記録債務	5,927	5,779
短期借入金	9,713	8,726
1年内返済予定の長期借入金	5,144	5,236
リース債務	703	787
未払法人税等	298	661
賞与引当金	949	423
その他	4,957	4,946
流動負債合計	36,808	34,809
固定負債		
長期借入金	8,773	8,466
リース債務	192	418
退職給付に係る負債	5,451	4,736
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	285	319
固定負債合計	15,709	14,947
負債合計	52,517	49,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,668	12,885
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,568	15,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	78
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	2,040
為替換算調整勘定	1,229	556
退職給付に係る調整累計額	△923	△760
その他の包括利益累計額合計	2,320	1,915
非支配株主持分	1,890	1,916
純資産合計	18,779	19,616
負債純資産合計	71,297	69,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	66,839	62,875
売上原価	58,497	54,466
売上総利益	8,342	8,408
販売費及び一般管理費	7,659	7,288
営業利益	682	1,119
営業外収益		
受取利息	14	22
受取配当金	8	9
持分法による投資利益	47	35
補助金収入	-	144
未払配当金除斥益	53	-
その他	94	99
営業外収益合計	219	312
営業外費用		
支払利息	112	161
為替差損	57	72
事業撤退損	-	60
事業所閉鎖損	-	71
その他	56	53
営業外費用合計	226	420
経常利益	675	1,011
特別利益		
固定資産売却益	-	1,538
課徴金返還額	-	58
補助金収入	17	-
特別利益合計	17	1,597
特別損失		
固定資産除売却損	25	34
特別損失合計	25	34
税金等調整前四半期純利益	666	2,574
法人税等	500	912
四半期純利益	166	1,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	100
親会社株主に帰属する四半期純利益	43	1,561

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	166	1,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△0
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	-	32
為替換算調整勘定	△279	△747
退職給付に係る調整額	132	163
その他の包括利益合計	△196	△552
四半期包括利益	△30	1,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78	1,083
非支配株主に係る四半期包括利益	48	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」(2016年1月13日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積の変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社及び連結子会社である㈱アルティアにおける退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(当社連結子会社におけるNRA均等化の有効時期に関する意見取得に向けた手続着手について)

当社の連結子会社である英国子会社Faltec Europe Limited(以下「FEL」という。)におけるHashimoto Limited Pension Scheme(以下「年金スキーム」という。)は、1990年3月1日より男女の定年退職年齢(Normal Retirement Age)(以下「NRA」という。)を均等化しておりますが、年金スキームを管理するPAN Governance LLP(以下「トラスティー」という。)より、英国法の年金スキームの下でNRAに関して、65歳での均等化が有効となった時期について現行の運用と異なっている可能性に関する意見が述べられております。

これに対して、FEL及びトラスティーは法的な懸念を払拭するために英国法手続きに従い、NRAについて65歳での均等化が1990年3月1日より有効に行われている旨の主張を行うために、法廷での弁論/証拠調べ等の職務を独占する法廷弁護士に現在意見を求める手続きをすすめております。

なお、上記手続きを経た後に当社決算へ及ぼす影響が判明する予定です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,805	8,676	7,357	66,839	-	66,839
セグメント間の内部売上高 又は振替高	850	109	22	982	△982	-
計	51,655	8,786	7,380	67,822	△982	66,839
セグメント利益又は損失 (△)	501	685	△510	676	6	682

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,140	7,743	5,991	62,875	-	62,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	837	138	8	985	△985	-
計	49,977	7,881	6,000	63,860	△985	62,875
セグメント利益又は損失 (△)	1,001	534	△473	1,062	57	1,119

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。